

日の折は非常な賑はひである。

### 五、巾辻觀音 巾組地内に在つて弘化四年建立馬頭觀音を祀る。

#### 河北の部

**辻地藏** 河北地内にあつて元祿八年の建立。附近の人の信仰厚く村祭の時獅子舞は妙智庵から必ず此處まで来て舞ふのを慣習として居る。又裏盆の日には附近の人々集りボチを作り供へ兒童に分け與へることである。

**備考** 古老の語る所によれば多くの辻地藏 辻弘法 辻觀音なき辻々にあつたが明治維新の際多くは附近寺院の境内に集められたものである。

又曰く下小口に酒井七兵衛なる人があり（酒井鐵郎の家）附近は行者の信仰甚だ盛んで七兵衛はそのカギ元をしてゐたさうである。

## 第五節 墓 地

埋葬字名	地	番	反	別	使用字名〔使用家名〕
大字豊田字共坪三五		二畝六歩			豊田秋田大屋敷傳染病死者

大	秋	田	豊	
大字秋田字宮浦七			大字豊田字差柳六八ノ一二	二反九歩
大字秋田字中山百二九			大字豊田字堀尾跡三六	一反九畝一步
大字秋田字畦知野五九			大字豊田字南屋敷一二	五畝步
大字秋田字西御前三六			大字豊田字善鍬七四	二畝歩
			大字豊田字松下五七	四畝廿歩
			大字豊田字二見三二	二畝廿歩
			大字豊田字南野原三二	二十歩
				一統墓地（廢墓）
大字大屋敷字寺東七八				長櫻八佐墓地
				早雲墓地
				傳右墓地
				替地墓地
				一
三畝二十歩				新田丹羽安藤組墓地

津二	北河	野余	田竹
大字河北二津屋一一三三	大字河北字宮東一〇一二	大字余野字宮前一〇一	大字小口字下島東五
大字河北字西割一二三五	大字河北字井兩一一四〇	大字余野字宮前九九	大字小口字大御堂腰ノ一
大字河北馬喰島一三五八	十六步	大字余野字日高一七七	大字小口字竹田東三二
二敵廿二步	二敵廿二步	一反二敵廿八步	一反二敵步
二敵四步	二一步	二敵四步	二敵四步
河北全部	河北全部	余野全部	余野全部
引墓にて埋葬しない	引墓にて埋葬しない	當時賭博者を斬り埋めしと傳へられる	當時賭博者を斬り埋めしと傳へられる

屋數	中口小下	中口小上	上口小上
大字大屋數坂小淵一一三	大字小口字西屋敷七二	大字小口字馬場七	大字小口字西屋敷七二
大字大屋數木郷三	大字小口字山中六六	大字小口字地藏堂三七ノ一、三七ノ二	大字小口字山中六六
大字大屋數學高橋五一	大字小口定光寺九	大字小口東五明一	大字小口定光寺九
大字大屋數學北海道一一	一八ノ一	四九ノ一	一八ノ一
大字大屋數學高橋	五敵十九歩	六敵五步	八敵十九歩
	一反九敵五歩	一反九敵五歩	二敵六步
	九敵十九歩	近藤松永水野梅田等	主として上小口寺澤氏一統
	五敵十九歩	丹羽酒井廣瀬水野安藤等	上小口全體
	下小口全部（除真宗）	仙田高木水野佐藤等	本郷丹羽野田組墓地
	下小口（真宗）現在不使用	近藤松永水野梅田等	高橋宮地組墓地
	現在不使用	仙田高木水野佐藤等	大御堂前田組墓地
	現在不使用	宮地市之丞所有墓地	

屋 萩	大字河北宮東二〇一六	三畝廿二歩	二津屋
島	大字小口字高岡四一	三畝廿二歩	萩島の北屋敷
仲	大字小口字清水七四	三畝十五歩	萩島の南屋敷
沖	大字河北字馬喰島一三六一	六畝十七歩	仲沖全部
	大字小口字北穴田六五ノ一	三畝廿二歩	
稻 日	大字小口寺田巽一九	四畝十三歩	稻日五家 以上は寺田も埋葬
坪 外	大字外坪一七八五	六畝六歩	松山巾本郷全部
	大字小口豊田島五六	四畝九歩	北外坪全部

## 第十四章 名勝古跡

### 第一節 總 説

本村には名勝と名付ける程のものがない。其の理由は第一本村は單調なる平野の真只中に位して、山なく丘なく只見渡す限り田圃桑園に包まれてゐると言ふ地理的事情なのである。第二民情及産業にもよるのである。即ち當地は純農村で、猫額大の土地たりとも田圃桑園として利用せざるには置かない、換言すれば、名勝として存するよりも、直ちに以て實利的に活用しようとするが故である。第三交通機關の不便な爲めである。村内の交通は主として道路に依つて、電車、バス等の便よろしくないからである。第四村の沿革上何等の由緒を認めないからである。第五天下の絶景、日本ラインを近くに控へてゐるが爲に、村内に名勝存在の必要がないためである。

この様な事情の本村から強いて名勝を求むるなら、一、豊田秋葉様、二、豊田、大乃瀬橋附近の螢、三、大屋敷長松寺の尾州開運護國三面大黒真天、四、同長松寺眼たゝき弘法、五、上小口萬町橋附近の螢、なきを擧げ得るであらうか。

次に本村内の古跡に就いて見るに、數に於ては相當あるけれども、豊田の堀尾邸趾、中小口の小口城趾等一、二を除